



# 神出の樹

平成26年2月6日発行  
県立神出学園  
神戸市西区小束野30  
078-965-1122

学園の行事を中心に、神出の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成25年度第8号をお届けします。今年は、いつも以上に寒い冬で、風邪やインフルエンザもはやっているようですが、なにをおいても、自分の健康管理が大切です。バランスのとれた食事を取り、睡眠時間をしっかりと確保して、自身の体調を整え、この冬を乗り切ってください！

## 『楽しかった！「新春フェスティバル」』



1月15日（水）、特別プログラムとして、「新春フェスティバル」が開かれました。午前中には、カルタ大会で、「坊主めぐり」と「百人一首」を楽しみ、その後、神出保育園の園児たちも一緒に、新春恒例の「とんど焼き」と「もちつき大会」を行いました。

幸い、この日は天候にも恵まれ、素晴らしい1日になりました。保育園の園児達も大喜びで、学園生と一緒においしいお餅に舌鼓をうちました。



## 「神出元気アップセミナー」 岩本 勉 氏



1月22日、今年度第3回の「元気アップセミナー」の講師として、元プロ野球選手の日本ハムのピッチャー岩本勉先生にお越し頂きました。保護者の方には「まいど！」の挨拶で結構なじみのある選手だと思いますが、本当に明るいお人柄で、お話も面白く、学園生も終始笑いの中で、「人との出会いの大切さ」についてのご講演を頂き、とても有意義な時間を過ごせました。

### < 神出学園スタッフの「座右の銘」 >

豊島 麻紀子さん（心理スタッフ） 「ケセラセラ」

「ケセラセラ」とはスペイン語で“なるようになる”という意味です。日々の生活の中で、どうしてもなく悩んだり、なかなか物事がうまく進まないときに思い浮かべる言葉です。

“なるようになる”だけ聞くと、いい加減に楽観的に聞こえてしまうかもしれませんが、でも“なるようになる”のは「なるようにする思いがあるから」「なるようになる頑張りがあったから」「なるようになるよう向かい合ったから」。だから、その結果、なるようになるんです。“なるようになる”というのは、いい加減に投げ出す、ということではなく、どこに辿り着くのかも、どんな線を描くかも分からないけれど、自分の思いと頑張りをもとめて、最後に自分の手でしっかりと飛ばしてみるといったイメージなのかな、と私は思います。

なるようになった結果はどんなものであっても、自分が向き合い、積み重ねてそこにできたものです。だから悩んで、向き合って、それでも、どうしてもなくなったら、最後は“ケセラセラ”。

やるだけやって、なるようになる、やることやってなるようになる、素敵な言葉です。

※次号は、中村さんの予定です。 お楽しみに！